

# 2010年3月期 第1四半期決算 主要建設会社決算分析



2009年9月16日

財団法人 建設経済研究所

# 目次

---

1. 調査の目的
2. 今回の分析対象会社
3. 報告要旨
4. 主要分析結果
  - ①受注高
  - ②売上高
  - ③売上総利益
  - ④販売費及び一般管理費
  - ⑤営業利益
  - ⑥有利子負債
  - ⑦経常利益
  - ⑧特別利益・特別損失
  - ⑨当期純利益
  - ⑩自己資本比率・デットエクイティレシオ
  - ⑪営業キャッシュフロー・純キャッシュフロー
  - ⑫工事進行基準への変更に伴う売上高・各利益への影響

# 1. 調査の目的

---

財団法人建設経済研究所では、1997年より主要建設会社の財務内容を階層別・経年的に比較分析することにより、建設業の置かれた経済状況とそれに対する各企業財務戦略の方向性について、継続的に調査しています。今年度より、四半期決算の発表が行われるようになったことを踏まえ、四半期毎の決算分析結果を公表することといたします。また、発表内容は、各社の決算短信から判明する財務指標の分析を提示するものです。

資料の提供を頂いた各社には、この場を借りて厚く御礼申し上げる次第です。

(お問合せ先) 財団法人 建設経済研究所 研究理事 山口 悦弘  
研究員 黒澤 知広  
渡邊 真弥  
小室 隆史

電話:03-3433-5242 FAX:03-3433-5239 3

## 2. 今回の分析対象会社

### (1) 対象会社の抽出

全国的に業務展開を行っている総合建設業者を念頭に、以下の要件に該当し、過去直近3年間の連結売上高平均が上位の39社を抽出した。

- ① 建築一式・土木一式の売上高が恒常的に5割を超えていること
- ② 会社更生法、民事再生法などの破産関連法規の適用を受けていないこと
- ③ 非上場等により決算関係の開示情報が限定されていないこと

### (2) 階層分類

売上高規模別に、以下の3つに階層に分類した。

階層	連結売上基準 (3年間平均)	分析対象会社	社数
大手	1兆円超	鹿島建設、大成建設、清水建設、大林組	4社
準大手	2000億円超	長谷工コーポレーション、三井住友建設、戸田建設、西松建設、前田建設工業、五洋建設、フジタ、熊谷組、東急建設、安藤建設、奥村組、ハザマ、浅沼組、東亜建設工業	14社
中堅	2000億円未満	銭高組、福田組、鉄建建設、太平工業、飛鳥建設、東洋建設、大豊建設、ピース三菱、青木あすなろ建設、ナカノドール建設、大本組、東鉄工業、若築建設、松井建設、大和小田急建設、矢作建設工業、大末建設、名工建設、不動トラ、北野建設、徳倉建設	21社

※福田組は、平成21年12月期 第1四半期のデータを使用

### 3. 報告要旨

---

- 受注高全体は、2008年度の世界同時不況の影響をまともに受け、対前年同期比▲35.2%となった。建築については製造・非製造問わず受注が落ち込み、土木についても落ち込みが大きい。
- 売上高についても昨年の受注減の影響で、対前年同期比▲4.4%と減少した。08年度通期の受注の落ち込みが大きかった「準大手」（07年度比▲16.0%）の売上高が二桁のマイナスとなった。同様に今期の受注減の影響が2010年の売上高に大きく影響すると考えられる。

- 
- 営業利益は、売上原価、販管費の削減や工事進行基準全面適用の影響で黒字となった。しかし、例年より売上高・利益を先出ししているため、第2四半期以降に利益回復が見込めるか懸念される。  
(工事進行基準については⑫を参照)
  - 特別損失は減少したものの、貸倒損失・引当が増加しており、昨年度の影響が今年度の経営にも影響していると考えられる。
  - 経常利益率・当期純利益率ともに09年度通期目標と大きく乖離しており、受注量確保が難しい状況下では、利益の改善に各社全力を注ぐものと思われる。

# 4. 主要分析結果

## ①受注高(単体・受注高合計、シェア)

単位:百万円

受注高／対前年同期比(以下、対前年比とする)

	大手		準大手		中堅 ※		総計	
08年度	1,126,911	(対前年同期比)	745,052	(対前年同期比)	378,646	(対前年同期比)	2,250,609	(対前年同期比)
09年度	649,283	-42.4%	513,601	-31.1%	294,619	-22.2%	1,457,503	-35.2%

□景気悪化により、受注高全体では対前年同期比▲35.2%、7,931億円程度減少となった(うち建築は全減少額の71.1%、約5,637億円、土木は同24.2%、1,917億円弱)。

シェア

	大手	準大手	中堅 ※	総計
08年度	50.1%	33.1%	16.8%	100.0%
09年度	44.5%	35.2%	20.2%	100.0%

□「大手」の大幅な受注減により5.6%ポイント減少、「準大手」が2.1%ポイント、「中堅」が3.4%ポイント、対前年比シェアを上げている。

※大和小田急建設が受注データ非公開のため、数値に含まず

# 受注高(単体・建築、シェア)

単位:百万円

## 受注高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅 ※		総計	
08年度	796,923	(対前年同期比)	540,510	(対前年同期比)	199,422	(対前年同期比)	1,536,855	(対前年同期比)
09年度	485,543	-39.1%	342,563	-36.6%	145,037	-27.3%	973,143	-36.7%

## シェア

	大手	準大手	中堅 ※	総計
08年度	51.9%	35.2%	13.0%	100.0%
09年度	49.9%	35.2%	14.9%	100.0%

- 各階層で大幅な減少となっている。製造業、非製造業問わず大きく受注を下げている。非製造業は、開発案件の中止やマンション発注の激減が影響していると考えられる。



# 受注高(単体・土木工事、シェア)

単位:百万円

## 受注高／対前年同期比

	大手		準大手		中堅※		総計	
08年度	261,183	(対前年同期比)	195,912	(対前年同期比)	173,876	(対前年同期比)	630,971	(対前年同期比)
09年度	134,046	-48.7%	164,326	-16.1%	140,922	-19.0%	439,294	-30.4%

## シェア

	大手	準大手	中堅 ※	総計
08年度	41.4%	31.0%	27.6%	100.0%
09年度	30.5%	37.4%	32.1%	100.0%

- 大手の受注高が激減している。海外の過年度工事で一部工事が中止になったことも影響している。国内受注高も各社減少しており、政府の景気対策による発注がまだ少ないことも影響していると考えられる。

※大和小田急建設が受注データ非公開のため、数値に含まず

## ②売上高(連結)

単位:百万円

### ①売上高(1Q)/対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度	1,465,934	(対前年同期比)	862,096	(対前年同期比)	389,985	(対前年同期比)	2,718,015	(対前年同期比)
09年度	1,417,596	-3.3%	760,543	-11.8%	419,493	7.6%	2,597,632	-4.4%

### ②売上高(通年)/対前年度比

	大手		準大手		中堅		総計	
01年度	6,721,896	(対前年度比)	5,794,752	(対前年度比)	2,781,017	(対前年度比)	15,297,665	(対前年度比)
02年度	6,410,075	-4.6%	5,393,442	-6.9%	2,671,589	-3.9%	14,475,106	-5.4%
03年度	6,117,119	-4.6%	4,970,882	-7.8%	2,400,506	-10.1%	13,488,507	-6.8%
04年度	6,284,302	2.7%	4,839,011	-2.7%	2,435,875	1.5%	13,559,188	0.5%
05年度	6,495,045	3.4%	5,054,537	4.5%	2,485,788	2.0%	14,035,370	3.5%
06年度	6,986,836	7.6%	5,141,092	1.7%	2,477,150	-0.3%	14,605,078	4.1%
07年度	6,982,594	-0.1%	5,060,358	-1.6%	2,445,701	-1.3%	14,488,653	-0.8%
08年度	7,159,756	2.5%	4,520,796	-10.7%	2,316,278	-5.3%	13,996,830	-3.4%
09年度目標	6,670,000	-6.8%	4,365,000	-3.4%	2,260,800	-2.4%	13,295,800	-5.0%

- 
- 売上高全体は対前年同期比▲4.4%となった(うち「大手」は同▲3.3%、「準大手」は同▲11.8%、「中堅」同7.6%)。
  - 2009年度通年の各社の目標は対前年比▲5.0%となる見込(うち「大手」は同▲6.8%、「準大手」は同▲3.4%、「中堅」は同▲2.4%)。
  - 売上高減少の原因は、2008年度通期の受注減(07年度比▲12.1%)と不況による「当期受注・当期完工物件」の減少が考えられる。特に、08年度通期の受注の落ち込みが大きかった「準大手」(07年度比▲16.0%)は、二桁のマイナスとなった。

### ③売上総利益(連結)

単位:百万円

#### 売上総利益／売上総利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度	93,363	6.4%	52,223	6.1%	29,000	7.4%	174,586	6.4%
09年度	85,282	6.0%	53,223	7.0%	33,330	7.9%	171,835	6.6%

#### 対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
08年度	-	-	-	-
09年度	-8.7%	1.9%	14.9%	-1.6%

- 売上総利益全体は対前年同期比0.2%ポイント増加した(うち「大手」は同0.4%ポイント減少、「準大手」は同0.9%ポイント、「中堅」は0.5%ポイント増加)。
- 工事進行基準全面適用による各利益の変化も注意が必要である。(詳細は⑫)

## ④販売費及び一般管理費(連結)

単位:百万円

### 販管費／販管比率

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度	83,527	5.7%	63,284	7.3%	35,855	9.2%	182,666	6.7%
09年度	79,252	5.6%	59,351	7.8%	31,804	7.6%	170,407	6.6%

### 対前年同期比

	大手	準大手	中堅	総計
08年度	-	-	-	-
09年度	-5.1%	-6.2%	-11.3%	-6.7%

- 売上高減少の状況の中、販管比率は例年並で総計では約120億円減少しており、階層問わず経費削減を実施している。

## ⑤ 営業利益(連結)

単位:百万円

### 営業利益／営業利益率

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度	9,836	0.7%	-11,061	-1.3%	-6,855	-1.8%	-8,080	-0.3%
09年度	6,030	0.4%	-6,128	-0.8%	1,526	0.4%	1,428	0.1%

### 対前年同期比

対前年度比	大手	準大手	中堅	総計
08年度	-	-	-	-
09年度	-38.7%	-	-	-

- 売上総利益率の増加と販管費率の減少した結果、営業利益総計は対前年同期比0.4%ポイント改善しプラスとなった。

## ⑥有利子負債(連結)

単位:百万円

### 有利子負債額／対売上比率

	大手		準大手		中堅		総計	
01年度通期	2,307,838	34.3%	3,383,698	58.4%	895,784	32.2%	6,587,320	43.1%
02年度通期	2,107,840	32.9%	2,523,140	46.8%	857,159	32.1%	5,488,139	37.9%
03年度通期	1,913,581	31.3%	1,620,298	32.6%	657,131	27.4%	4,191,010	31.1%
04年度通期	1,702,394	27.1%	1,479,488	30.6%	542,397	22.3%	3,724,279	27.5%
05年度通期	1,507,410	23.2%	857,705	17.0%	450,996	18.1%	2,816,111	20.1%
06年度通期	1,470,642	21.0%	840,399	16.3%	427,356	17.3%	2,738,397	18.7%
07年度通期	1,636,257	23.4%	742,720	14.7%	415,283	17.0%	2,794,260	19.3%
08年度1Q	1,526,737	21.3%	778,931	17.2%	418,176	18.1%	2,723,844	19.5%
08年度通期	1,795,451	25.1%	859,953	19.0%	458,781	19.8%	3,114,185	22.2%
09年度1Q	1,960,383	29.4%	871,467	20.0%	419,133	18.5%	3,250,983	24.5%

※08年度1Q 売上高は08年度通期実績を採用

※09年度1Q 売上高は09年度通期予想を採用

- 営業キャッシュフローの減少の影響や流動資産の充実等を目的として、対08年度1Q比及び対08年度通期比で増加している。特に「大手」の増加幅が大きい。

## ⑦ 経常利益(連結)

単位:百万円

### ① 経常利益(1Q) (経常利益/経常利益率)

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度	18,637	1.3%	-8,702	-1.0%	-6,820	-1.7%	3,115	0.1%
09年度	9,399	0.7%	-5,362	-0.7%	630	0.2%	4,667	0.2%

### ② 経常利益(通年) (経常利益/経常利益率)

	大手		準大手		中堅		総計	
01年度	145,483	2.2%	95,325	1.6%	32,479	1.2%	273,287	1.8%
02年度	130,221	2.0%	29,441	0.5%	38,621	1.4%	198,283	1.4%
03年度	163,273	2.7%	114,275	2.3%	48,216	2.0%	325,764	2.4%
04年度	183,299	2.9%	131,710	2.7%	58,397	2.4%	373,406	2.8%
05年度	213,508	3.3%	139,211	2.8%	60,693	2.4%	413,412	2.9%
06年度	216,435	3.1%	126,592	2.5%	30,897	1.2%	373,924	2.6%
07年度	150,172	2.2%	78,904	1.6%	21,499	0.9%	250,575	1.7%
08年度	57,568	0.8%	65,040	1.4%	37,721	1.6%	160,329	1.1%
09年度目標	101,500	1.5%	58,000	1.3%	37,770	1.7%	197,270	1.5%

- 有利子負債増加の影響で、営業外損益が悪化し「営業利益」からの回復幅が「08年度1Q:プラス0.4%」が「09年度1Q:プラス0.1%」と減少している。



## ⑧特別利益・特別損失の内訳(連結)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	09年度	08年度	09年度	08年度	09年度	08年度	09年度	08年度
<b>特別利益</b>	<b>3,769</b>	<b>9,701</b>	<b>5,110</b>	<b>4,559</b>	<b>2,122</b>	<b>3,087</b>	<b>11,001</b>	<b>17,347</b>
債務免除益/支援金受入金	0	0	0	0	0	0	0	0
債務買戻し益	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券売却益	3,503	4,625	31	216	505	446	4,039	5,287
固定資産売却益	9	44	105	627	183	190	297	861
厚生年金代行返上益	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>特別損失</b>	<b>5,535</b>	<b>4,611</b>	<b>4,544</b>	<b>10,040</b>	<b>7,205</b>	<b>5,921</b>	<b>17,284</b>	<b>20,572</b>
投資有価証券評価・売却損	2,750	346	922	829	294	369	3,966	1,544
固定資産売却・評価・除却損	3	44	90	165	152	61	245	270
不動産評価損・減損損失	0	3,303	101	279	154	978	255	4,560
貸倒損失・引当等	1,973	0	2,143	3,544	4,305	3,432	8,421	6,976
割増退職金	0	0	45	4,169	755	95	800	4,264

- 特別損失は総額では減少したものの未だに貸倒損失・引当は各階層で計上しており、前期の影響が今期の経営に影響を与えていると考えられる。

注)上記の特別利益・損失の内訳は各社の分類によるものであり、会社によっては、上記項目に該当するものでも、「その他」等ここに挙げていない項目に含めているものがある。

## ⑨当期純利益(連結)

単位:百万円

### ①当期純利益(1Q)(当期純利益/当期純利益率)

	大手		準大手		中堅		総計	
08年度	12,834	0.9%	-13,032	-1.5%	-10,305	-2.6%	-10,503	-0.4%
09年度	2,500	0.2%	-4,796	-0.6%	-6,438	-1.5%	-8,734	-0.3%

### ②当期純利益(通年)(当期純利益/当期純利益率)

	大手		準大手		中堅		総計	
01年度	-136,154	-2.0%	-131,571	-2.3%	-15,456	-0.6%	-283,181	-1.9%
02年度	35,061	0.5%	-488,719	-9.1%	-58,890	-2.2%	-512,548	-3.5%
03年度	36,237	0.6%	193,217	3.9%	-29,484	-1.2%	199,970	1.5%
04年度	77,891	1.2%	-411,129	-8.5%	20,683	0.8%	-312,555	-2.3%
05年度	112,607	1.7%	362,316	7.2%	14,440	0.6%	489,363	3.5%
06年度	133,940	1.9%	49,362	1.0%	-11,321	-0.5%	171,981	1.2%
07年度	112,933	1.6%	-23,397	-0.5%	-10,891	-0.4%	78,645	0.5%
08年度	-8,183	-0.1%	-27,634	-0.6%	-10,297	-0.4%	-46,114	-0.3%
09年度目標	46,000	0.7%	30,415	0.7%	19,660	0.9%	96,075	0.7%

- 「準大手」「中堅」で前年同期に続いて赤字であった。各階層で、09年度目標利益率と大きく乖離しており、受注量の確保が難しい状況で、利益の改善に各社全力を注ぐものと思われる。

## ⑩自己資本比率・デットエクイティレシオ（連結）

### 自己資本比率

	大手	準大手	中堅	総計
08年度	19.9%	23.7%	24.2%	21.8%
09年度	17.3%	23.9%	24.9%	20.4%

### D/Eレシオ

	大手	準大手	中堅	総計
08年度	1.05	0.75	0.83	0.91
09年度	1.59	0.92	0.89	1.23

※有利子負債/自己資本で算出

- 有利子負債増加の影響で自己資本比率、D/Eレシオともに悪化している。特にD/Eレシオにおいて「大手」の数値の悪化が大きい。

注) 自己資本比率は、今までの調査との継続性を重視し、「純資産」ではなく「自己資本」を総資産で割って算出した。

## ⑪ 営業キャッシュフロー・純キャッシュフロー（連結）

単位：百万円

### 営業キャッシュフロー

	大手	準大手	中堅	総計
08年度	-25,987	19,887	62,012	55,912
09年度	-67,258	1,726	64,754	-778

### 純キャッシュフロー

	大手	準大手	中堅	総計
08年度	-71,704	6,552	36,935	-28,217
09年度	-30,483	-21,923	15,854	-36,552

※上記項目は、キャッシュフロー非公開会社の数値は含まず

- 営業キャッシュフローは、完成工事未収入金の増加等の影響で「大手」「準大手」で大幅に悪化した。
- 純キャッシュフローは、「大手」が有利子負債を増加したことにより大幅に増加した。

## ⑫工事進行基準への変更に伴う売上高・各利益への影響

単位:百万円

### 工事進行基準への変更に伴う売上高・各利益の増加額

	大手		準大手		中堅		総計	
	売上高 増加額	各利益 増加額	売上高 増加額	各利益 増加額	売上高 増加額	各利益 増加額	売上高 増加額	各利益 増加額
09年度	10,397	607	13,921	1,576	15,715	1,898	40,033	4,081

### 09年1Q 売上高/各利益額

	大手	準大手	中堅	総計
売上高	1,417,596	760,543	419,493	2,597,632
売上総利益	85,282	53,223	33,330	171,835
営業利益	6,030	-6,128	1,526	1,428
経常利益	9,399	-5,362	630	4,667
当期純利益	2,500	-4,796	-6,438	-8,734

- 09年度1Qより各社新会計基準に基づき、1Q末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事は、工事進行基準が適用されている。基準変更による増額が各項目に含まれていることになる。
- 各階層で利益の増加があり、例年より利益を先出ししているため、第2四半期以降利益回復が見込めるか懸念される。